

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ニホンダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) イケノゼミナール
日本大学	商学部	池野ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームオー	フリガナ) ヌマタケイスケ	4	無
チーム O	沼田啓佑		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

レガシー効果—2020 年五輪をよりよくしていこう—

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

2020 年の東京オリンピック開催にあたり、使用する施設についての議論が交わされている。そこで私たちは、三年後に迫る東京オリンピックのレガシー効果に着眼した。オリンピックレガシーは近年のオリンピックから、招致における評価要素として正式に定められた。本リサーチの目的は、1964 年に開催された東京オリンピックがもたらしたレガシー効果から、2020 年の東京オリンピックのレガシー効果を予測することである。

本リサーチにおいてレガシー効果とは、オリンピックがもたらす開幕後にも及ぶ持続的な効果のことを指す。さらにレガシー効果は、目に見える具体的な有形なもの、目に見えない無形なものといった二つの意味に分類される。前者の例として、1964 年の東京オリンピック後、東海道新幹線や首都高速道路の整備といったインフラ設備や、体育の日の設定、街の活性化、失業者の雇用創出や、観光客の増加といった数字に表れる効果が挙げられる。一方、後者の例として、オリンピックイベント体験がもたらす運動・スポーツへの関心の高まり、ボランティア活動意欲など精神的なものが挙げられる。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

2020 年の東京オリンピックで競技場として利用される予定である、代々木体育館と国立競技場の歴史的背景について述べる。

代々木競技場は 1964 年の東京オリンピックが開催されることに伴い、国立競技場と並んで、水泳を行う大水泳場の建設が

必要となった。この建物は、「高張力による吊り屋根方式」という極めて複雑な構造を持っていた。外観も、スポーツ精神を象徴し、世界に類のない高張力による吊り屋根方式で、明治神宮の森の美しい環境を生かした高い芸術性を保つ、日本を代表する建造物が誕生した。

東京オリンピックでは、本館で、水泳競技、別館でバスケットボール競技が行われた。オリンピック後は、本館は夏にはプール、冬にはアイススケート場として活用し、また、プールの上に床をはって、体育館としての利用も可能にした。他にも、各種スポーツ教室を開講するなどし、市民スポーツの場としてのスポーツ振興策が実施された。スポーツ競技においてもスケートやバレーボールの国際大会利用が増え、プールからフロアに転嫁し多目的競技施設としての有効利用を可能にした。新たな事業として本館ではコンサートが行われ、文化施設としての側面も持つようになった。また、代々木競技場自体が芸術的価値をもっているが、さらに周辺には東京オリンピックを記念して、制作された芸術作品が点在されている。

国立競技場は、1964年のオリンピックに、陸上競技、サッカー、馬術競技として使われた。その後は、毎年全国高校サッカー選手権大会の主催会場となるため、『高校サッカーの聖地』とされ、さらにラグビーの試合会場にも使われた。コンサート会場としての利用もなされたが、天然芝の保護という観点から年間1組に限られていた。しかし、取り壊しが決まり、2013年には3組のコンサート開催が決定していた。

取り壊し前の旧国立競技場は、その仕様によっていくつかの大きな問題が生じていた。陸上競技において、「走行レーンが8レーンしかないことやサブトラックが400mトラックでないために、現在の国際陸上連盟の規格を満たしていない」という問題や、2002FIFAワールドカップの計画案において国立競技場を会場として利用することが検討されたが、国際サッカー連盟が要求する会場仕様として「観客席の3分の2以上に屋根が架設されること」が条件に挙げられていたため、候補から外されたとという問題が生じていた。ほかにスポーツ以外での需要も多かったため、敷設改修だけでは様々な需要や要件を満たす事が出来ず、2020年のオリンピックにむけて全面建て替えをすることになった。2020年東京オリンピックでは国立競技場に仮設の陸上トラックが建設されるが、オリンピック後は球技専用場に改修される予定であり、旧国立競技場が持っていた歴史的な陸上トラックはなくなり、それまでに陸上競技に多くの人々の関心を引き寄せてきたというレガシーは、今後消えていってしまう。新国立競技場建設後は本拠地として特定のチームの使用を認めていなかったが、新たにJリーグのクラブの本拠地として使用する予定である。これにより、サッカーのホームタウンが東京23区にできることになるため、サッカーの発展につながると予想されている。

### 3. 研究テーマの課題

オリンピックの開催、招致を行う上で、オリンピックレガシーのメリットばかりに着目され、デメリットが無視される傾向にある。例えば2008年の北京オリンピックは、「一つの世界、一つの夢」をスローガンに掲げ、北京市内に設置された37会場を中心に行われた。そして競技場設備、基礎施設の建設、観光客の増加など直接効果および関連産業の需要増大などの間接効果を生み出した。「社会主義」という特殊な体制を保ちながらの経済社会の発展をPRすることにも成功した。また無形のレガシーとして「グリーン・オリンピック」という目標を北京オリンピック委員会は立ち上げ、廃棄物処理システムの近代化、緑地面積の増加など様々な角度から環境への配慮を行い、北京市社情民意調査センターの市民3000人に対する電話調査によると市民の環境保護への関心が90パーセント以上高まったと分かった。

しかし、新設された施設の大会後の利用はうまくいっていないのである。象徴的なレガシーを発揮する予定だった鳥の巣は現在ほとんど利用されておらず、オリンピックパークの施設内外はゴースタウンと化している。多くのオリンピック会場が北京市中心部から15キロも離れた郊外にあり、北京市民が利用しづらいためである。建設計画段階からパーク内の施設はオリンピック後の会場の再利用について十分に考慮されてなかった。私たちは北京オリンピックのような事態が2020年の東京オリンピックの新設された会場などに起きる可能性があると考えます。

もちろん、大会後に施設の運営に成功した例もある。2012年のロンドンオリンピックではイギリスが事前にレガシーに関して具体的目標を掲げていたことがレガシー効果の成功につながった。有形なレガシーに関連しては次のように進めた。可能な限り既存施設を利用し、新設する場合は大会後に長期的利用が見込まれるものに限った。オリンピックスタジアムでは、大会終了後サッカークラブの「ウエスト・ユナイテッド」のホームスタジアムや、2017年に行われた世界陸上の大会施設のメイン会場として使われている。また、既存施設で収容が足りない場合には仮設のスタンドを設置することで対応し、終了後には撤去した。そのほか、開催に

よってパーク内外にも新しいビル、真新しい散歩道なども作られた。作られたことにより、雇用が生まれ雇用者の増加による失業低下につながった。無形のレガシーに関連しては、スポーツ選手への助成増強、運動する人の増強、ボランティア意識の向上などがある。このように多くのメリット指摘できるが、スポーツ振興に対して、十分な貢献に至っていないのではないかという声もある。

東京オリンピックを開催する際、東京がさらに発展していくためには、ロンドンオリンピックのように施設開催後にどのような都市にするかという明白な目標を見据えることが必要である。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

代々木体育館と国立競技場のレガシー効果の予想から、2020年の東京オリンピックに生かす方法を模索する。取り壊しと既存施設の利用という、対照的な2つの施設について比較し、そのレガシー効果について考察する。手段として、書籍、インターネットから施設の情報を参照する。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

代々木体育館は2017年に老朽化・耐震のため改修工事を行ったものの、取り壊しとはならなかった。2020年の東京オリンピックで使用されるにあたり、競技面・運営面ともに支障は無く、国際大会を実施できる水準を満たしていたからだ。また先に述べたように、1964年の東京オリンピック後に様々なレガシー効果を発揮していることも、取り壊しに至らなかった理由の一つである。

一方で、国立競技場は、1964年のメインスタジアムであり、近年までサッカーの国際大会、全国高校サッカー選手権の開催など、サッカーの聖地として慕われていた。そのほかにもラグビー、マラソン大会も開催されるなど、国立競技場は日本スポーツの振興に貢献してきた象徴的な施設である。しかし、2020年の東京オリンピックを迎えるに当たり、施設全面的に取り壊された。旧国立競技場は陸上競技のレーン数が不足しており、競技を行う水準を満たしていなかったからだ。

競技を実施する上で施設の改修は必須だったものの、はたして取り壊しを行う必要はあったのだろうか。取り壊しには莫大な時間と費用が発生することは明白であり、その是非について十分な議論を行う必要があったであろう。しかし、この取り壊しに際して十分な議論が行われず、結果として様々な問題が発生した。

旧国立競技場の取り壊し後に、新国立競技場の建設計画も一旦は白紙になるなど、長期的な計画も不十分であった。視点を変えるならば、新国立競技場はオリンピックのためだけに作られているという見方もできる。すなわち、これまでの歴史をふまえ、さらに、将来を長期的に見据えたレガシー効果を考慮していないのである。このまま長期的な計画が不十分であると、北京オリンピックの新設スタジアム「鳥の巣」の二の舞を演じ、負のレガシー効果を生み出してしまう結末も考えられる。

2020年東京オリンピックでは、陸上競技のサブトラックが仮設で進められていることから、その後の使用目的の選択肢が少なくなってしまう。実際、オリンピック後は新国立競技場の陸上トラックは観客席となり、球技専用の施設として使用されることに決定した。その一方、ロンドンオリンピックの負のレガシーを残さないすぐ取り壊せる仮設施設を作るという点は今回の陸上競技場のサブトラックにあたることも考えられる。

私たちは、1964年の東京オリンピックのレガシー効果から、2020年の東京オリンピックに向けて新国立競技場が長期的なレガシーを生むために必要な方法を4つ提案する。

##### ①さまざまな大会の競技水準をクリアする会場づくり

競技水準を満たせば、世界大会が開けるようになるため新たな集客が見込める。世界記録など更新された時に歴史ある競技場としてのレガシーが残せる。

##### ②緑を生かした憩いの場

国立競技場周辺には、新宿御苑、明治神宮が隣接している。都心に近い立地に加え緑のある競技場として、スポーツの普及とともに、憩いの場としての利用価値を提案する。

##### ③コンサートなどの開催による収益率アップのために屋根をつける

赤字経営が続くと、その費用を賄う財源を他から捻出しなければならない。そのため、コンサートなどの開催により黒字経営をめざし、文化的側面を持ったスタジアムにすることができる。

##### ④高齢者スポーツへの足掛かり

新国立競技場での高齢者向けのイベントの開催を提案する。このイベントにより高齢化が急速に進む社会で新たなコミュニティや地域活性化につながる。1964年の東京オリンピックで体育の日が設定されたように、国民スポーツの振興に向けたチャンスであると考えられる。

##### ⑤サッカーやラグビーのクラブチームのホームスタジアムとして利用する

ホームスタジアムとして利用されると、ホームタウンが形成されそのスポーツの振興とともに地域の連帯感を向上させる。

## 6. 結果や今後の取り組み

今回の調査で提案した負のレガシーを軽減する方法、長期的なレガシーになりうる施設の利用提案について、より具体的な計画を策定し、実際に行動に移せる水準まで高めていくことが必要である。

今後、建設されるうえで変化するであろう新国立競技場の建設計画に即した、新たなレガシーの提案、負のレガシーの指摘、改善を行う。

## 7. 参考文献

・“国立競技場”の本質”. Nippon.com.

<http://www.nippon.com/ja/currents/d00188/?pnnum=1>, (参照 2017-09-27)

・“壊さずに残して！海外から高い評価「日本のモダニズム建築」代々木競技場、中銀カプセルタワー…”. Jcast テレビウオッチ.

<https://www.j-cast.com/tv/2016/11/10283095.html>, (参照 2017-09-27)

・“議論深めずなげ旧国立競技場を取り壊した!?”. 経済プレミア.

<https://mainichi.jp/premier/business/articles/20150820/biz/00m/010/009000c>, (参照 2017-09-27)

・“CLAIR REPORT No.402 2012年ロンドンオリンピック・レガシーの概要”. 一般財団法人 自治体国際化協会.

<http://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/402.pdf#search=%27%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%B3%E4%BA%94%E8%BC%AA+%E3%83%AC%E3%82%AC%E3%82%B7%E3%83%BC%27>, (参照 2017-09-27)

・金子史弥 (2014). “2012年ロンドン・オリンピックが創った新たなレガシー”.

[http://www.yhmf.jp/pdf/activity/adstudies/vol\\_50\\_01\\_03.pdf#search=%27%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%B3%E4%BA%94%E8%BC%AA+%E3%83%AC%E3%82%AC%E3%82%B7%E3%83%BC%27](http://www.yhmf.jp/pdf/activity/adstudies/vol_50_01_03.pdf#search=%27%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%B3%E4%BA%94%E8%BC%AA+%E3%83%AC%E3%82%AC%E3%82%B7%E3%83%BC%27), (参照 2017-09-27)

・“北京五輪の会場 “鳥の巣”含めて大部分が廃墟化していた”. NEWS ポストセブン.

[http://www.news-postseven.com/archives/20120805\\_135528.html](http://www.news-postseven.com/archives/20120805_135528.html), (参照 2017-09-27)

・川那子進一 (2012). “ロンドンオリンピックレガシーの活用”.

[http://www.clair.or.jp/j/forum/c\\_mailmagazine/201207\\_2/5.pdf](http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201207_2/5.pdf), (参照 2017-09-27)

・“オリンピック・レガシーとは何か”. 株式会社三菱総合研究所.

<http://www.mri.co.jp/opinion/legacy/pdf/olympic-legacy.pdf>, (参照 2017-09-27)

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください